

# 「人権Café」学習運動で職員の意識に変化

# 人権意識を高める機会に

全日本民医連から第44期運動方針の一つとして、世界の人権保障の歴史と到達を学び、仕事やくらしの課題を語りあう「人権Café」学習運動が呼びかけられました。同仁会では、教育委員会から全職場での学習を提起し、進めています。

職場の朝礼や毎月の職場会議、委員会や研修の中などで学習時間をもつけ、読み合わせや意見交換が行われたり、テーマごとに担当者がパワーポイントを作成し、自分の言葉でスタッフに伝えるなど、学習した職場からの報告書から、忙しい中でも工夫して取り組んでいる様子がうかがえます。

教育委員会では、各職場の取り組みや感想を多くの職員に知ってもらい、学びを深めるために、ニュースを発行しています。

『「人権Café」』は学習とともに参加者一人ひとりが、自分の想いを話すことで互いの考えを知り、違いに気づく場となっていると感じました。また、意見交換の中から意識の変化が生まれ、「人権」について意識を高める機会となっています。

どんな社会を目指したいのか、そのために自分たちができることは何か、「人権Café」を通じて考えることができます。

(教育委員会事務局  
同仁会本部  
谷川 舞衣)

## 学習した職員から感想が寄せられました

(抜粋)

- すべての方が生まれながらもっている権利が、奪われてはいけないものとして、改めてこの学習を通して実感した。
- 世代によって考え方の違いがあるなど、みなで話し合う中で気づくことが出来た。多様性、個性を認め合い、偏見や差別のない社会にしたい。
- 「人権」と聞くと堅苦しいが、幸せな国を作るために憲法を知り、主張していかねばいけないと思った。自分たちが生きやすい世の中にしていくために、もっと政治を知っていこうと思う。
- 回を重ねるごとに、個人の学習が人に語れるものとなった。
- 人権としての社会保障をめぐる重要なたまたかの象徴ともいえる「朝日訴訟」は、多様性の現代においても、人々の声が生きる社会保障を基盤とした社会づくりのお手本のように感じた。
- 何を障害とするのか、何を普通とするのか、それは自然(科学的)に決まるのではなく、社会の包容力などにも認定されるのだと思った。



## 4つのステートメント(案)

性の多様性を認め合える組織へ  
「個の尊厳」を支えるという医療・介護事業を行う事業体として

私たち同仁会は、医療・介護を行う事業体です。医療・介護の究極の目的は、ヒトが生物として生きるだけでなく、社会や集団の中で、また自分自身により存在が認められ、尊重された中で生きること、すなわち「個の尊厳」を支えることにあります。

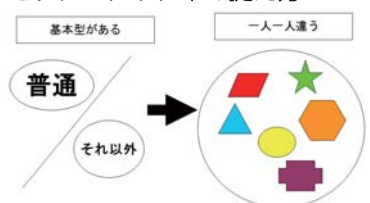
性の多様性を認め合える組織として、今回は「性の多様性を認め合える組織」として、おとうとする流れのなか、「個の尊厳」を支える医療・介護事業を行う事業体として、性に関する「個の尊厳」を支えるため、LGBTについて学び、考え、とりくみを進める時代を迎えています。

「個の尊厳」を支えるという医療・介護事業を行う事業体として

「性」の回です。この宣言のテーマである「性の多様性」(多様な性自認・性指向) LGBT (Lesbian Gay Bisexual Transgender の頭文字) について、その権利や存在を尊重することの大事さは、「頭(理屈)では理解できても、感覚的にはいまひとつピンとこない」という方が多いのではないのでしょうか。

しかし、同性婚の合法化や権利保護の流れが諸外国で進み、そして日本においても権利の尊重や差別的禁止など、LGBTに対する基本方針を策定している企業数が、全国で364社にのぼる現在(2019年度調査)、公的存在である社会医療法人として、考えた

## セクシュアリティの捉え方



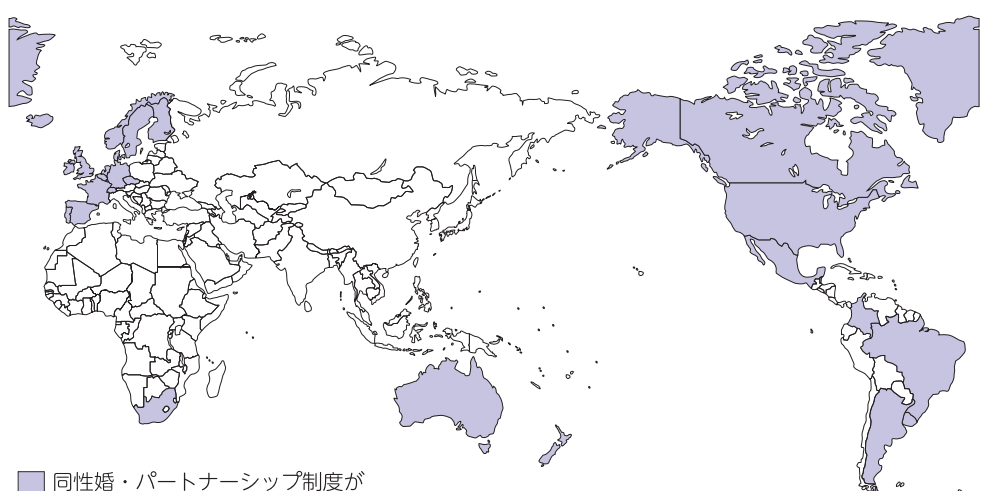
みみはらグループ新年集会講演 QWRC 近藤由香氏(コジ) 資料より抜粋

## 4つのステートメント(案)

- \* 同仁会はジェンダー平等の社会を推進します
- \* (仮称)性の多様性を認め合える組織へ
- \* 互いを尊重しあい、ハラスメントが発生しない職場づくりをめざそう
- \* 平和、地球環境、人権を守る運動を現場・地域から広めよう

## 世界の同性婚

2021年9月時点で、同性婚およびパートナーシップなど同性カップルの権利を保障する制度を持つ国・地域は、世界中の約20%の国・地域に及んでいます (NPO法人EMA日本)



同性婚・パートナーシップ制度が国・または一部の州や市で合法化

## 同性結婚を異性間の結婚と同等とみなし、夫婦とほぼ同じ権利を認める国や地域

(ウィキペディアより)

- 【アジア】 台湾
- 【ヨーロッパ】 オランダ ベルギー スペイン ノルウェー スウェーデン ポルトガル アイスランド デンマーク フランス イギリス ルクセンブルク アイルランド フィンランド グリーンランド マルタ ドイツ オーストリア
- 【北アメリカ】 カナダ メキシコ アメリカ合衆国
- 【中央アメリカ】 コスタリカ
- 【南アメリカ】 アルゼンチン ブラジル コロンビア ウルグアイ エクアドル
- 【アフリカ】 南アフリカ共和国
- 【オセアニア】 ニュージーランド オーストラリア

(社会医療法人  
同仁会  
森 高志  
副専務理事)

11月号へ続く